

英語科目の履修について

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。この資料では、基盤教育の英語科目とその履修方法について説明します。

基盤教育の英語科目には、接続領域の「英語 A 」「英語 A 」、と、教養領域の「英語 B 」「英語 B 」、そして「応用英語」があります。

「英語 A 」「英語 A 」、は卒業に必要な科目（要卒科目）必修科目で、1年次生が履修するように設定されています。「英語 A 」、は総合的な英語力の養成を目的とした科目、「英語 A 」、は技能別に英語力を養成することを目的とした科目です。学類によって履修できる時間枠が決まっています、食農学類の皆さんが履修できるのは、**火曜4時限**の「英語 A 」、と**木曜2時限**の「英語 A 」、です。

「英語 B 」「英語 B 」、は、2年次生が履修するように設定されています。要卒科目ですが、選択制になっていて、同じ「外国語科目」の中の「英語以外の外国語科目」と、どちらかの単位を取得すれば、要卒単位になります。食農学類の「英語 B 」、は、**火曜2時限**（英語 B ）、と**木曜4時限**（英語 B ）、に置かれています。

「**応用英語**」は、「英語 B ）」と同じ教養領域「外国語科目」の科目で、取得すると「外国語科目」の単位として計上することができます。学類による時間枠の限定はなく、また1年次から履修することはできますが、「英語 A 」「英語 B ）」とは異なるレベル、目標、内容、技能などが設定されているので、シラバスをよく読んで、履修が可能かどうか熟考してから選択してください。

<第1セメスター（今学期）の履修方法について>

第2セメスター（1年次後期）以降の履修方法は、『学修案内』の「英語、英語以外の外国語の履修について」の中の、<英語について>に詳しい説明が掲載されているので、ぜひ熟読してほしいのですが、ここでは、特別な状況に対応することになった、今学期の履修方法について説明します。

すでにライブ・キャンパスの連絡通知でお知らせしている通り、今学期の「英語 A ）」と「英語 A ）」を履修するためには、クラス分けのための**英語 A の希望クラスアンケート**に回答する必要があります。回答期限は、4月27日(月)17:00です。「英語 A ）」「英語 A ）」それぞれの希望クラスを選び、必ず期限までに回答を提出してください。（回答期限の前であれば、回答を修正することができます。）

アンケート終了後、皆さんの回答を基に、クラス分けを行います。**クラス分けの発表**は4月28日に行う予定です。希望人数の多いクラスがあった場合、各クラスの規模が同じくらいになるようにするために、**受講調整**を行います。クラス分けの発表を必ず見

て、自分がどのクラスになるのかを確認してから、4月30日までに履修登録を行ってください。

アンケート開始前に英語 A・A の科目の履修登録をしてあっても、クラス分けて決められたクラス以外は、正式な履修登録にはなりません。特に希望クラスと実際に入ることになったクラスが異なる場合には、注意してください。

<シラバスについて>

希望クラスを選択する際に、一番の手掛かりとなるのはシラバスなのですが、今学期については、遠隔で授業を行うことが決定される以前に作成されたものであるため、その点を踏まえて参考にしてもらえればと思います。

遠隔授業の形に合わせた授業方法などの詳しい説明は、各クラスの初回の授業で行われることになっています。

連絡通知やアンケートでもすでにお知らせしている通り、「英語 A」で Oral Communication として準備されていたクラスは、別の形式に変更になっています。木曜2時限については、「総合英語」(英語 A と同じ形式)に変更されました。アンケートでお知らせしている【追加情報】も参考に希望クラスを選択してください。

また、シラバスの補足情報として、遠隔授業の方法に関する資料も、選択の際の参考にしてください。

<その他のお知らせ>

英語科目の履修に関すること以外で、新入生ガイダンスで例年説明している内容を、簡単にご紹介します。

(1) グローバル特修プログラムについて

グローバルな力を身につけたい学生のために開設されたプログラムです。異文化理解やグローバルな教養を身につけることを目的とした「グローバル教養プログラム」と、英語力の強化、より実践的な海外留学・インターンシップの支援のための「英語グレードアッププログラム」の2種類があります。関心のある人は、学修案内の「グローバル特修プログラムの履修について」を参照してみてください。

(2) 資格試験・海外語学研修等について

在学中に受けた英語に関する資格試験(技能試験)が、自由選択科目の単位として認定される場合があります。詳しくは、学修案内の「2019年度入学生からの英語に係る技術審査の単位認定に関する要項」を参照してください。

また、在学中に参加した英語の短期語学研修も、自由選択科目の単位として認定される場合があります。これについては、学修案内の「英語の語学研修に係る学修の単位認定に関する要項」を参照してください。

<参考>

以下は、学修案内に記載されている内容です。(「英語 A ・A の履修について」の部分は、上記の説明のように変更になりましたので、後期(第2セメスター)に関すること以外は省きました。また、一部学類用に編集しています。)

<「英語 A Ⅰ」・「英語 A Ⅱ」について>

- (ア)「英語 A Ⅰ」は、総合的な英語力の養成を目的とした授業科目です。
- (イ)「英語 A Ⅰ」は、技能別に英語力を養成することを目的とした授業科目で、次の3種類のコースが開講されます。授業の詳細はシラバスに記載されています。
- ・ Reading …「読む」ことを主とした総合的な英語力を養成するためのコース
 - ・ Writing …「書く」能力を養成するためのコース
 - ・ Oral Communication …「聴く・話す」能力を養成するためのコース
- (ウ)1年次では、「英語 A Ⅰ」及び「英語 A Ⅱ」を各2単位、計4単位を修得しなければなりません。また、各2単位、計4単位を超えて修得することはできません。
- (エ)「英語 A Ⅰ」及び「英語 A Ⅱ」は、それぞれ週1回1クラスを半期履修することにより1単位認定されます。4単位を修得するためには、
- 「英語 A Ⅰ」について前・後期各1クラスの計2クラス、
 - 「英語 A Ⅱ」についても前・後期各1クラスの計2クラスを履修する必要があります。
- (オ)開講曜日・時限は学類ごとに指定されています。食農学類は、「英語 A Ⅰ」が火曜4時限、「英語 A Ⅱ」が木曜2時限に開講されます。学類指定以外の曜日・時限の授業を受講することはできません。
- (カ)「英語 A Ⅰ」、「英語 A Ⅱ」は、履修登録撤回できません。

<英語 A Ⅰ・英語 A Ⅱの履修について>

- (イ)後期の所属クラスは「英語 A Ⅰ」、「英語 A Ⅱ」それぞれ前期と同一教員のクラスになります。
- ・同一教員のクラスが後期に開講されていない場合は、前期クラスの教員の指示に従ってください。
 - ・前期に単位を修得できなかった場合でも、後期は同じクラスで受講可能です。
- (ウ)「英語 A Ⅰ」、「英語 A Ⅱ」は、それぞれ後期のみ「基礎クラス」が開講されます。成績評価は「B,C,F」のいずれかになります。
- 受付期間は、9月中旬～下旬です。「英語 A Ⅰ」の「基礎クラス」を希望する学生はこの期間中に手続きをしてください。手続き詳細や受講の認否は掲示板等でお知らせします。(人数が多い場合等は希望が認められない場合があります。)
- (エ)食農学類で「英語 A Ⅰ」の「基礎クラス」の受講を希望する学生は、「英語 A Ⅰ」の

「基礎クラス」の手続きを行う際に、基盤教育係窓口へ申し出てください。

<「英語B₁」・「英語B₂」について>

- (ア)「英語B₁」は、総合的な英語力の養成を目的とした授業科目です。
- (イ)「英語B₁」は、技能別に英語力を養成することを目的とした授業科目で、次の3種類のコースが開講されます。授業の詳細はシラバスに記載されています。
- ・ Reading … 「読む」ことを主とした総合的な英語力を養成するためのコース
 - ・ Writing … 「書く」能力を養成するためのコース
 - ・ Oral Communication … 「聴く・話す」能力を養成するためのコース
- (ウ)2年次で英語を選択する学生は、「英語B₁」及び「英語B₂」を各2単位、計4単位を超えて修得することはできません。
- (エ)「英語B₁」及び「英語B₂」は、それぞれ週1回1クラスを半期履修することにより1単位認定されます。4単位を修得するためには、「英語B₁」について前・後期各1クラスの計2クラス、「英語B₂」についても前・後期各1クラスの計2クラスを履修する必要があります。
- (オ)開講曜日・時限は学類毎に指定されています。食農学類は「英語B₁」が火曜2時限、「英語B₂」が木曜日4時限に開講されます。学類指定以外の曜日・時限の授業を受講することはできません。
- (カ)「英語B₁」、「英語B₂」は、履修登録撤回できません。

<英語B₁・英語B₂の履修について>

- (ア)前期の所属クラスは「英語B₁」、「英語B₂」ともに、以下の手続きで行います。
1. シラバスを読んで、受講希望クラスの第1回目の授業に必ず出席してください。
 2. 第1回目の授業では、授業内容についての説明と希望受付が2回(1次、2次)行われます。

<1次説明・受付>

- ・ 第1回目授業開始時刻(2時限10時20分、4時限14時40分)に希望クラスの教室に行き、授業内容等について説明を受けた後、別途配布する「受講希望カード」を担当教員に提出してください。(人数が多い場合は、その場で抽選が行われます。)
- ・ 1次受付で定員に達したクラスは、2次受付は行いません。

<2次説明・受付>

- ・ 1次受付で抽選にもれた学生は、提出した受講希望カードを受け取り、受講可能クラスを掲示で確認し、2次説明・受付開始時刻(2時限11時20分、4時限15時40分)までに希望クラスの教室に行ってください。
授業内容について説明を受けた後、受講希望カードを担当教員に提出してください。(人数が多い場合は、その場で抽選が行われます。)
- ・ 2次受付の抽選にもれた学生及び第1回目の授業を欠席した学生は、すみやかに受講希望カードを基盤教育係窓口へ提出してください。所属クラスは第2回目の授業ま

でに掲示します。

- (イ)後期の所属クラスは「英語B」,「英語B」それぞれ前期と同一教員のクラスになります。

前期に単位を修得できなかった場合でも,後期は同じクラスで受講可能です。

ただし,「通常クラス」から「基礎クラス」に限って変更ができます。

- (ウ)「英語B」の「基礎クラス」は前期から開講されます。成績評価は「B,C,F」のいずれかになります。

・「基礎クラス」を希望する学生は,「通常クラス」と同様,第1回目授業開始時刻(2時限10時20分)に希望クラスの教室に行き,授業内容等について説明を受けた後,別途配布する「受講希望カード」を担当教員に提出してください。(人数が多い場合は,その場で抽選が行われます。)

・1次受付で抽選にもれた学生は,提出した受講希望カードを受け取り,受講可能クラスを掲示で確認し,2次説明・受付開始時刻(2時限11時20分)までに希望クラスに行ってください。授業内容等について説明を受けた後,別途配布する「受講希望カード」を担当教員に提出してください。(人数が多い場合は,その場で抽選が行われます。)

・2次受付の抽選にもれた学生及び第1回目の授業を欠席した学生は,すみやかに受講希望カードを基盤教育係窓口へ提出してください。所属クラスは第2回目の授業までに掲示します。

- (I)前期に通常クラスに所属していた学生に限り,後期から「基礎クラス」へ変更可能です。

受付期間は,9月中旬~下旬です。「基礎クラス」を希望する学生は 期間内に手続きをしてください。手続き詳細や受講の認否は掲示板等でお知らせします。

(前期の時点で「基礎クラス」が定員を満たしている場合,また希望人数が多い等の場合は希望が認められないことがあります。)

<応用英語について>

- (ア)1年次から,「応用英語」を履修することができます。

- (イ)当該科目は,それぞれの授業の目的・内容が異なります。詳細はシラバスに記載されています。

- (ウ)ローマ数字が異なる場合は,別の授業科目となり重ねて履修できます。

例:応用英語 , 別の科目

- (I)修得した単位は,教養領域・外国語科目の単位として計上されます。

<再履修等の履修手続きについて>

- (ア)2年次生以上で「英語A・A」,「英語B・B」の再履修希望学生は,基盤教育係窓口から「英語再履修希望調査カード」を受け取り,第1回目授業開始時に希望クラスの教室に行き,カードを担当教員に提出してください。第1希望のクラスが受

入不可で、第2、第3希望のクラスでも受付不可だった場合は、基盤教育係窓口まで申し出て下さい。

再履修希望カード配布時期：前期 3月中旬～下旬 / 後期 9月中旬

- (イ) 1クラス(半期)のみの再履修希望学生は、修得済みクラスの開講時期(前期/後期)に関わらず、前期、後期いずれでも履修可能です。
- (ウ) 再履修以外の理由(休学等)で、「英語A・A」を2年次生以上、「英語B・B」を3年次生以上で履修する学生も同じ手続きをとってください。
- (I) 再履修として前期から履修している学生は、後期の再履修手続は不要です。後期は、前期と同一教員のクラスになります。前期に「通常クラス」に所属し、後期から「基礎クラス」を希望する学生は、所定の手続きをとってください。
- (オ) 4年次生以上で専門教育科目の履修の関係で英語の再履修が困難な学生は、英語再履修受付期間に必ず基盤教育係窓口へ申し出て下さい。

<外部検定試験の活用について>

「2019年度入学生からの英語に係る技能審査の単位認定に関する要項」の記載を事前に確認しておいてください。また、所定の手続きをとってください。

手続きは「LiveCampus」/ 掲示等でお知らせします。

<海外語学研修について>

「英語の語学研修に係る学修の単位認定に関する要項」の記載を事前に確認しておいてください。また、所定の手続きをとってください。

手続きは「LiveCampus」/ 掲示等でお知らせします。